

AXIES2025 in北海道

香川大学のDX推進のここに注目！ “展示メニュー”

1 DXを“学術的”に捉える

DX推進を学術的に捉え、内製開発手法やプロジェクトマネジメント手法を客観的かつ再現性を高めることを意識して実践・検証しています。

デザイン思考



論文発表

MVP

UML図

SoR/SoI/SoE

スサノオ・フレームワーク

アジャイル開発

アイデアソン

UX調査

2 学生中心の開発集団“DXラボ”が大学の業務システムを内製開発

デザイン思考を学んだ学生を中心に、教職員、クロスアポイント教員による“DXラボ”を組織しています。

学生スタッフは非常勤職員として雇用され、事業部門の職員とともに大学の業務システムを内製開発しています。



3 日本全国で内製開発ハンズオンを実施

DXラボのノウハウを学内のみでなく、他大学、民間企業に対して内製開発ハンズオンを実施しています。今までに**52回**、**延べ2400人**が参加しています。

市民開発

KadaiDX塾

フュージョン開発

4 非情報系職員 “デジタルONEアンバサダー”が業務システムを内製開発

ドメイン知識

非情報系の職員が、自らの回りの業務を内製開発する“デジタルONEアンバサダー”制度を2022年から開始しています。

職員の開発したシステムは、約300にのぼります。



ソリューションカタログ

5 あなたもシステム開発！教科書発売中！

入門編

応用編

ハンズオンの内容や、講演内容の一部を電子教科書として発売しています。

香川大学が開発したシステムの一部をWEBサイトで公開しており（これまでに**3000ダウンロード以上**）、ZIPファイルやマニュアルも掲載しています。教科書と併せて、内製開発を支援する環境を提供しています。

